

みられる私

セラピスト

おうちでリハビリ
ラシックアーレ
La Chic Allé

理学療法士

田上綾香



I. はじめに

前研究では・・・

失語症のある方とのコミュニケーションに難渋したケースについて考えた。会話が進むきっかけとなったのが、「記憶を辿る行為」であったことを報告。

他人が相手との距離を縮めるためには・・・ **共通の記憶** ➤ **共感・共有が発現** ➤ **視線や表情の同調**

コミュニケーションツールは、「**共通の記憶**」を探る行為 なのではないか？！

しかし！中々、行動が伴わない現状。 **今回の課題➤自らが行動を起こすためには？**

★ヒント!! 森岡周 は、「他者の心の中を読み取るには、顔の中でも**目の観察**が重要。」と定義

II. 症例紹介



対象者:80歳代女性、要介護4
診断名:左視床出血 右片麻痺、運動性失語症

▼失語症のため

- ・他人とのコミュニティーをつくらうとしない
- ・初対面の方には拒否反応を示す

～現状～

- ・発症して3年が経過、現在は介護保険下で、週2回のリハビリを施行
- ・日中は、自宅ベッドにてテレビをみて過ごすことが多い
- ・家族との会話は少ない
- ・外出する機会は、月数回の病院受診のみ

IV. 結果

自己の静止画・動画を見た後は、ともに笑顔がみられ懐かしい思い出に関する発語があった。また、2の動画をみた後は涙を流され、過去の自分の奮闘していた姿に歓喜し、自己奮起がみられ、動作の自主性も見られた。他人の動作を見た後は、表情・発音・活動性にも変化はみられなかった。

結果1. 3種類の動画・静止画をみたときの反応

	表情	発音	活動性
①自分の写真	笑顔	また行きたい	若干向上
②自分の動画	笑顔、涙	頑張らなきゃ	向上
③他人の動画	無表情	なし	変化なし

結果2. 家族、私に対する反応

家族:外出に対する意欲の向上
私:視線が合い、リハビリの積極的に参加

V. 考察

随意的行動なし

原因は!?

運動イメージが湧かない

発症から数年経ち訪問リハビリが開始されたため、理想や目標とするものがみえない

漠然とした目標の設定

セラピスト側が「屋内外歩行の獲得」という目標設定をしてしまっている。手段的なものであり目標ではない

目標とする姿を想像するためには!?

対象者と共に過去動画をみる!

ということが役に立った症例

記憶の再現

【行動分析1】
表情:涙を流す



相手の表情、動作からミラーニューロンが発現し、意図を推察

扁桃体は情動活動に関与し、海馬の記憶形成機能に影響

目標をもち奮闘していた頃の記憶の再現

過去の記憶が思い出されたことで、**情動の変化**が起きた

私と対象者で共同注意を行う

【行動分析2】
表情:私をみる



相手の視線から目的を推論し、自らの目的を形成

扁桃体は他者の情動の読み取りに関与

共同注意は目標志向型に他者に自己の意図を伝達

動画をみる私の目から、**私の情動**を読み取る

三項関係により、私の情動を読み取ることができ、**私の意図**が伝わった

➤記憶の再現・共同注意により、**扁桃体**に刺激を与えた

扁桃体

現在 認知情報 ← 照合・評価 → 過去情報

大脳皮質の**前頭連合野**

随意的行動の動機

➤我々が**扁桃体**を刺激する機会を与えることで、**「快」の情動**が生じた時、**随意的な行動の発現**に繋がる

VI. まとめ

・視線や表情の同調から信頼関係の形成に繋げていく
失語症の方との言葉を使った意志疎通には、誤解が生じることがある
そこで、非言語コミュニケーションに目を向ける

・我々は「みる・みられる」といった相互関係で成立しており、
もう一度自身の立ち振る舞いについて考える必要がある
家族や友人、我々の笑顔が対象者の社会的報酬に繋がる可能性がある

・情動行動を誘発する条件は、個人・環境に依存し多種多様
個々にあった方法を探究し続ける必要がある